

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立南住吉小学校	学校	児童数	106
------------	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.78	18.38	32.37	34.16	47.09	8.90	146.76	19.44	50.84
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.65	18.13	35.72	33.69	36.13	9.21	132.10	12.28	51.85
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

今年度は、50m走と20mシャトルランで全国（女子の20mシャトルランは除く）・大阪市平均を上回る結果となった。特に、シャトルランに関しては、例年平均値を下回っていたので、大きな変化のあった項目になる。ただ、それ以外は、全国・大阪市平均を若干下回る結果となった。その中でも、反復横跳びが大きく下回った。そのため、体力合計点も男女ともに全国・大阪市平均を下回る結果となった。質問項目の「運動やスポーツをすることは好きですか」の肯定的回答においては、男子は95%で平均以上、女子は79%で平均を下回る結果となっている。また1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が2%で平均より少なく、女子が18%で全国平均より若干多くなっている。こういったことも、体力合計得点の差が男子より女子の方が若干開いていることに影響している可能性がある。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

3年前より、4年生では2学期から週に1回、5・6年生では全ての体育科の学習を、体育専科行っている。特に、器械運動など系統立てた指導が必要な内容においては、体育専科が学習を行うことで、より一貫した指導を行うことができている。また、体力テストの課題を踏まえて、体づくり運動を行ったり、様々な領域で学習内容の工夫をしたりすることで、児童の課題に応じて学習を進めることができている。また、3年生においても学年内専科を導入して体育科を進めるなど、校内でも力を入れて学習を進めることができている。また、学期に一度全校体育に取り組むことで、児童の体力や運動意識の向上を図っている。1学期にはラジオ週間、2学期には縄跳び週間、3学期にはランニング週間という内容である。

今後の課題は、「走る」ことに関してはよい結果が出ているので、「投げる」「跳ぶ」に重点を置き、校内の取り組みや各学年の授業を考えていくことである。同時に、子どもたちが体を動かすことが好きだと思えるような取り組みを引き続き考えていくことである。